

注 意 事 項

1. 選手は受付時間の15分前に、プレーできる服装になって本部に出席を届けてください。届出のない場合は棄権とします。(時間厳守！)(天候等により変更もありますので本部にて確認してください。)
2. 試合方法 予選全試合～準決勝 1セットマッチ(6-6タイブレーク)
決勝戦 3セットマッチ(6-6タイブレーク)
※ 天候等の状況により試合方式が変更になる場合があります。
3. 使用球は、HEAD TOUR XT。ボールチェンジは決勝のみセットチェンジ。
4. セルフジャッジで行ってください。セルフジャッジの時は選手及び、レフェリー、ロービングアンパイア以外コートに入れません。
セルフジャッジの方法(アウト、フォルト時に、相手にわかるように片手をあげてコールする。ポイント、ゲームカウントはサーバーがコールを必ずおこなう。)
5. 試合前のウォームアップはサービス4本のみです。また、会場内及び近隣道路・駐車場でのラリー等を一切禁止とします。
6. 試合中「自然的体力消耗」による中断は認めません。
7. ゲーム中フェンス越しからのコーチング、声援は厳禁とします。
8. プレーヤーはホワイトボードに名前が張り出されたら、ただちにプレーすることができるよう準備をしなくてはならない。
9. 2025年度よりフットフォルトは、レフェリー・ロービングアンパイアがコートの外からでもコールすることができる。
10. 雨天の場合でも原則集合をお願いします。コート状況等により日程変更・時間帯変更・会場変更を行なう場合があります。又、新たに日程を設定する場合があります。当スクールホームページにてご確認ください。当日午前8時以降発表しますが、遅れる場合もございますので予めご了承ください。
11. 勝者は試合終了後、日程・試合開始時間変更の有無を本部で必ず確認してください。
12. 服装はテニスウェアとします。ロゴ規定を採用します。
13. 進行上、前の試合が終了したら直ちにコートに入りウォームアップを開始してください。
14. 試合進行上、ナイターになることもあります。
15. 雷雨が接近している場合、試合を中断することがあります。
16. 試合結果の報告は勝者が行ってください。
17. 待機中・試合中のケガ等に関して一切の責任を負いかねます。応急処置のみさせていただきます。
18. 盗難・紛失等に関しては一切の責任を負いかねますので、各自貴重品等の管理を行なってください。
19. コート上で携帯電話及び電子機器の使用・鳴音を禁止します。スマートウォッチを含みます。外してください。事前に電源を切っておいてください。違反をすると警告を受けます。
20. 決勝戦は全種目ヒートルールを採用します。最終セットの前にセットブレイクを含む10分間の休憩が取れます。
21. エントリーはテニスウェア・テニスシューズ着用のうえ、ジュニア登録証を持参して受付に提示してください。
※ この組み合わせは2025年7月15日現在の関東ジュニアランキング表が参考資料となっています。
※ 駐車場に限りがありますので、公共機関をご利用ください。
■大会情報の開示に必要な選手名・所属等をHP、その他に掲載いたしますので予めご了承ください。

セルフジャッジのやり方

- A. 選手は、ネットより自分側のボールのすべてについて判定しなければならない。ボールとラインの間に空間が見えなかった時、あやふやな場合は、すべて相手方に有利になるように判定しなければならない。
- B. 「アウト」や「レット」のコールは瞬間的にしなければならない。
コールが遅れたり、あやふやなコールをすることは、それがはっきり分らなかったことを意味し、アウトをコールできなかったボールは、サービスボールも含めてグッドであるとみなして判定しなければならない。又、観客に聞いてはならない。しかし、インだったボールを誤って「アウト」とコール（ミスジャッジ）したが、直ちに訂正した場合は、返球が正しくコートに入った場合は、1回目は故意でない妨害としてポイントレットにする。2回目以降は故意に妨害したとして失点する。
※ウイニングショットとみなされた場合はレットにはなりません。
- C. サーバーはポイントおよびゲームのスコアを相手に聞こえるようにコールする責任がある。
- D. 隣のコート等からボールが入った場合、プレーの進行中に直ちにレットのコールすることが出来る。ポイントが終わってからではコールはできない。

暑さによるトラブルを防ぐ為に

真夏、炎天下での試合や練習では著しく体力を消耗し、熱中症と呼ばれる熱射病、熱疲労、熱痙攣（ねつけいれん）を引き起こすことがあります。場合によっては死亡することもあり、十分な注意が必要です。熱中症は、気温25℃でも湿度が100%なら発生する可能性があります。ちなみに、気温が30℃なら湿度50%以上になると熱中症が起こる可能性が高くなります。気温と湿度の状態を把握することが予防の第一歩です。

熱中症を起こさない為の注意点を以下に示しますので参考にしてください。

1. 飲んで、飲んで、とにかく水分を十分に取ること。
* 飲む為に適したもの：水、お茶類、薄めたスポーツドリンク。
* 飲むのに適さないもの：清涼飲料水（糖分の入ったもの）、カフェイン。
2. 飲むときは少しずつ飲む。
* 試合前：1時間ほど前から15分ごとに150cc（これ以上は吸収できない）ずつ。
* 試合中：エンドチェンジには必ず飲む。
3. 汗と一緒に失ったものは補給する。
* 失われた塩分、ミネラル、カリウム等は果物やスポーツドリンクで補給する。
4. 試合前の食事は、エネルギー源になるものをしっかり食べる。
* ご飯、パン、麺類の炭水化物（+柑橘類）を中心に、油っこいものは避ける。
5. ウェアーは体を締め付けない、ゆったりしたものを着る。
6. 必ず帽子をかぶり日焼け止め（SPF15以上のもの）を塗る。
7. 試合前に日に当たり過ぎないこと。
8. 試合と練習の間は、体の水分を元に戻すために十分な時間をとる。
9. ひどく汗をかいたシャツは着替えること。特に試合後はすぐに着替えること。
10. エンドチェンジには首の後ろを氷嚢（ひょうのう）や冷たいタオルなどをあてて冷やす。
11. エンドチェンジの際、正面から日差しを受けない方向を向いて座る。
12. 試合後はすぐに水分を補給し、合わせてクーリングダウン、ストレッチ、アイシングを行う。
* 試合後、すぐに座り込んだり寝転んだりすることは、筋肉の拘縮（こうしゅく）や痙攣（けいれん）を起こす原因となる。
13. 休養、睡眠、栄養を十分に、しっかりとる。
14. 気分が悪くなったら、すぐにレフェリー・ロービングアンパイアに申し出ること。決して無理はしない。
* ゆっくり息を吐き、自分で呼吸をコントロールし、パニックを起こさないこと。